

【Google仕事術を学ぶ】

Google：超一流IT企業。平均年収2,648万(2020年)

googleの年収が高い。

⇒生産性がめちゃくちゃ高い。

⇒生産性を上げる仕組みがあるので、生産性が高い社員が多い。

Google流の仕事術を学んで、生産性の高い人を目指しましょう！！

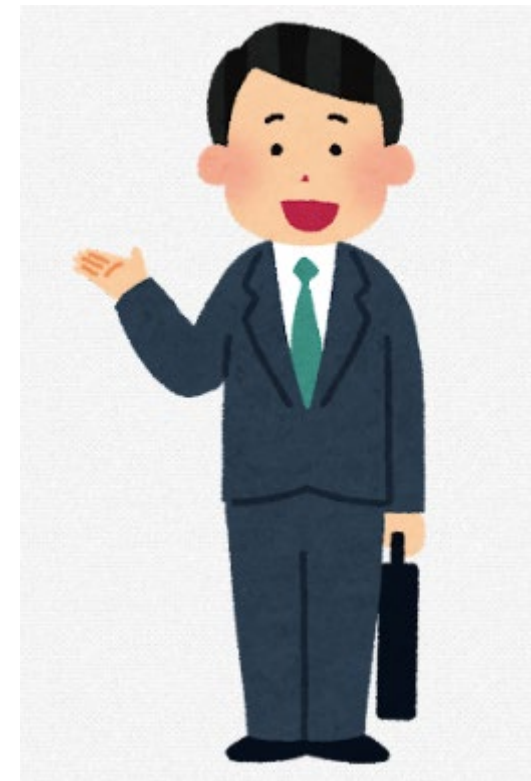
Q&Aを5問用意しています。

生産性の高い人はどう考えているか考えてみましょう。

Q1.時間のムダを生む言葉

○○○○○○○(言葉)
で多くの時間が無駄になる。

日本のビジネスマンが営業終わりによく使う言葉。
なんだと思いますか？



持ち帰りますで多くの時間が無駄になる。

わからなくて持ち帰らないといけないときは

どこまでわかっている
/どこまでわかっていないか

書き出す。

わかっていること	わかっていないこと
<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・

一般的な企業で多く使っているけど、googleであまり使っていないPCツールがあります。
それは何でしょう？



Q2.システム

正解:メール

×資料ファイルをメール添付。

(問題点)どれが最新のファイルかわからない/ファイル管理が煩雑。

(対策)ファイルのリンクを貼る。

×日程調整にメールをつかる
→スケジューラーを使う。



(※補足)メールが絶対にダメ!というわけではないです。

メールは便利だからこそ、本当にメールが必要かどうか状況状況によって考えてみましょう。

Q3.成長マインドセット

手っ取り早く成長するには、研修よりも人に聞く。

自分の知りたいことの80%は同僚(上司)が知っているという調査結果もある。

では問題。

上司に質問するときは”あること”をすることが必要だと言われています。

“あること”とは？



Q3.成長マインドセット

A:仮説をもって質問する。

手っ取り早く成長するには、研修よりも人に聞く。
ある調査では自分の知りたいことの80%は同僚が知っている。
質問するときは**仮説をもって質問**することが必要。

例.部下(後輩)から”なんにもわからないから教えて下さい”
といわれたらどう思いますか？
学ぶ意欲がないのでは？と思いませんか？

心理的安全性を高めるために、グーグル社がしていることは？

心理的安全性とは、周囲の反応に怯えることなく、安心して働ける状態を指す。
2015年にGoogle社が提唱。

A:部活。

業務以外の繋がりをつくることで、孤立を防ぐ。
呑みニケーションが少なくなった今こそ、必要と捉える。

関東では今はないですが、執行部中心に部活を作ろうと動いています。

Q4.組織論(2)

成長するチームは〇〇が多い。

〇〇(漢字2文字)とは？

成長するチームは**失敗**が多い。

成長するチーム

思ったことをすぐ試す。(すぐ試す分、失敗も多い)。

→ぶち失敗。

→フィードバックして、再試行。

⇒試行回数が多いほうが、成長する。



【教育側の視点】

googleの人事部門が考えている事：

×いかに管理するか。

○いかに社員に良い経験をさせるか。

google人事部門は性善説で考えている(人は成長したがっている。)

成長のためにいかにフォローできるかがよい組織をつくる鍵。

以上になります。

今後仕事を進めるうえでのヒントになれば幸いです。

ご清聴ありがとうございました。